

華やかに、芸術の祭典!! 第1回仁生会職員作品展覧会開催



仁生会では、これまで、スポーツを通じて職員が親睦を図る機会はありませんでしたが、文化系の活動ではありませんでした。そこで、職員が創作した文化的作品を一堂に展示して、より親睦を深めたいと思います。このたび、10月31日(土)～11月2日(月)に、細木病院新館地下高行記念講堂において、『第1回仁生会職員作品展覧会』を開催しました。出品した職員は17名。展示作品は、写真、俳句、彫刻、陶芸、華道、手工芸、絵画、書道など59点。2日半の開催期間中に当初の予想を上回る約400名が来場し大盛況でした。

患者さんやご家族、地域住民、職員など会場を訪れた方は、「良いものを見せていただけて気持ち良かった」「あの方に、こんな趣味があったとは知りませんでした」「素晴らしい。こんな才能のある職員がこの病院にはおるがやね」と感心していました。また、作品を前にして職員同士の会話も広がり、来年の作品展示の話も出たりして、多くの職員の交流の場となりました。

初日と2日目には、和服を装った細木膺子仁生会本部長と茶道の心得のある職員による茶の湯のおもてなしもあり、凛とした空気の中、お抹茶をいただくことができました。「今までいただいたお抹茶の中で、一番おいしかった」と絶賛でした。

皆が笑顔になり、とても幸せな時間が流れました。今回の展覧会の開催にご協力いただき、大変感謝申し上げます。

(細木病院在宅部長 廣井三紀)

時 事
エッセー

山間部のトイレ



仁生会理事長
細木 秀美

人間を含め、生き物は食べないと生きてはいけない。食べると不要物を必ず排泄する。日本でも戦前から戦後しばらくは、ポットトイレが普通だった。そ

こに溜まった排泄物は、農家の方が肥料として使用するために、家々を回って回収してくれた。そして畑にまかれた排泄物の中の寄生虫の卵が、栽培された野菜などに付いて、口から身体に入って、子どもがお腹の中に回虫や蟯虫のような虫を飼っていたのが普通だった。

そのころ水洗トイレは、ホテルや公共施設を除いて、一般家庭には普及していなかったと思う。しかし昨今は、高知市内では水洗トイレが至極当たり前になっていて、清潔で衛生的でとても良いが、一方では、インフラ整

備や維持管理に多額の費用が必要だ。また、水の無駄使いにもなったりして、水の有効利用からは程遠い。しかも災害などで断水になった時には、大弱りにもなる。

もっと簡便な処理施設がないかなあと漫然と考えていた時、コンポストトイレというものを知った。排泄物に、おがくずやもみ殻を混ぜて、空気と攪拌することで、有害細菌を死滅させ、有機物を分解する。残った栄養塩は、たい肥として農業に利用する。このコンポストトイレを利用して農作物を育てているモデル農場を、アフリカの農業国ブルキナファソに作った日本人が紹介されていた。約 84%が山地である高知県では、都市部は水洗でも良いが、山間部ではこのコンポストトイレの普及が地産地消、地産外消の一助になるのではと考えた。皆様はいかがお考えですか。

職員が選んだ、今年の仁生会10大ニュースが決まりました。第1位は、細木病院に堀見忠司院長が就任された。第2位は、仁生会が社会医療法人に認定されたニュース。第3位が、細木病院の橋本浩三名誉院長が勇退されたニュースで、1位、3位、5位に細木病院と三愛病院の院長交代がランクインしました。また、第4位と第7位に、細木病院に最新型の医療機器が導入されたニュース。細木病院在宅部の南海トラフ地震対策も第6位に入りました。

平成27年仁生会10大ニュース発表!!

職員が選んだ、今年の仁生会10大ニュースが決まりました。第1位は、細木病院に堀見忠司院長が就任された。第2位は、仁生会が社会医療法人に認定されたニュース。第3位が、細木病院の橋本浩三名誉院長が勇退されたニュースで、1位、3位、5位に細木病院と三愛病院の院長交代がランクインしました。また、第4位と第7位に、細木病院に最新型の医療機器が導入されたニュース。細木病院在宅部の南海トラフ地震対策も第6位に入りました。



順位	じんせい掲載号	施設名	今年の主なニュース	得点	得票
1	10月号	細木病院	堀見忠司院長就任	1,547	205
2	5月号	仁生会	社会医療法人に認定	1,493	200
3	11月号	細木病院	橋本浩三名誉院長勇退	1,408	180
4	2月号	細木病院	県内初、3D画像対応型マンモグラフィを導入	1,105	186
5	4月号	三愛病院	深田順一院長就任	978	126
6	4月号	細木病院	在宅部が高知県南海トラフ地震対策優良取組事業所の5つ星に認定	710	128
7	6月号	細木病院	内視鏡センターに最新型内視鏡システム導入	658	126
8	9月号	細木病院	日本医療機能評価機構による4度目の更新認定	579	108
9	9月号	細木病院	総合診療科を開設	574	123
10	9月号	仁生会	第62回よさこい祭りに4年連続14回目出場	459	112

細木病院

冬季の感染対策研修会開催 ノロウイルス対応

ノロウイルスやインフルエンザなど、冬季に流行する感染症への対策が必要な時期となりまして。今年も、ノロウイルスの変異型（GⅡ・17変異株）が現れています。

た、11月には、「吐物処理」をテーマに、演習形式の研修会を開催しました。吐物処理は、適切に行わないと感染拡大の危険性が高く、処理を行った人への二次感染も起こります。今回、看護・介護職だけでなく事務職員も含め80名の職員が参加し、実際に行う際の手法や必要物品の確認などができて有意義な研修会となりました。

炎を起こすウイルスで、非常に感染力が強く、食中毒の原因にもなり、毎年秋から冬にかけて本格的な流行を繰り返します。ノロウイルスは人間の体内でしか増殖しないこと



土居世知感染管理者（左）と演者の MeijiSeika ファルマ(株)の森本将隆氏



吐物処理の演習

当院では、10月に全職員対象に「ノロウイルス対応」をテーマとした研修会を開催しました。職員以外にも委託業者や実習生等、計567名の参加があり、ノロウイルスに関する基礎知識や感染対策について学びました。ま

10月31日～11月1日、高知市文化プラザで開催された。第54回日本薬学会・日本薬剤師会・中国四国支部学術大会が開催されました。この大会は、中国四国地区の8県が持ち回りで開催している3学会合同の薬剤師の学術大会です。県外からも多くの薬剤師や薬学生が参加し、参加者数は1400名を超えていました。

当院からは、2題の発表を行いました。田所美和薬剤師は、「糖尿病療養指導における病薬連携の取り組み―外来患者に対する服薬状況及び食事療法の現状調査―」と題して、当院と近隣の保険薬局が共同してアンケート調査を実施した結果を発表しました。

青木佐菜薬剤師は、「院外処方箋の疑義照会に対する医師の包括的指示と病院薬剤師の代行回答」と題して、保険薬局からの疑義照会に対して、医師の合意を得て病院薬剤師が代行回答することで、医師の負担を軽減し、患者さんの待ち時間を短縮するという取り組みを発表しました。この発表は注目され、後日、全国紙である「薬事日報」の一面に大きく取り上げられました。

また、田中照夫医療技術部長・薬剤室顧問が、「医政局長通知（チーム医療の推進）の具体化―中規模病院の取り組み―」と題して講演しました。ここ数年、当院薬剤室でチャレンジしてきた、薬剤師の専門性を活かした新たな取り組みについての紹介でしたが、会場に



左から、田中照夫医療技術部長、青木佐菜薬剤師、田所美和薬剤師

細木病院

第54回 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会で発表・講演

院薬剤師の代行回答」と題して、保険薬局からの疑義照会に対して、医師の合意を得て病院薬剤師が代行回答することで、最近、患者中心の医療から、患者参加型医療（患者さんはチームの一員）という考え方に変わってきています。今後とも、新たな知識を吸収し、チームで連携を深め、業務改善を図りながら、安全で安心な薬物治療が提供できるよう努めていきたいと思っております。薬のことは薬剤師に、いつでもお気軽にご相談ください。

細木病院

地域連携推進センター健康セミナー開催

細木病院地域連携推進センターでは、10月16日に新屋敷2丁目町内会の集会「新屋敷サロン」において、当院の糖尿病看護認定看護師の片岡典代副看護師長を講師に、『糖尿

病とがん』と題して地域住民対象の健康セミナーを開催しました。地域連携推進センターの業務の一つに、地域住民への啓蒙活動があり、これまでその機会を模索して

きたのですが、今回初めて開催することができました。開催にあたっては、サロンの活動を支援する高知市北部地域高齢者支援センター城西出張所の協力を得て、サロンの様子を見学させていただきました。当日は、約30名の地域の皆さんにご参加いただきました。中には以前当院を受診し、片岡副院長

との再会を求めて初めてサロンに来られたという方もいらっしゃいました。住民の皆さんは、片岡副院長の豊富な知識と資料による分かりやすい説明に聞き入っていました。個人の住宅が会場ということもあって、講師と聴衆がテーブルを囲んで語り合う、終始和やかなセミナーとなりました。

（地域連携推進センター 連携情報管理室 田村幸大）



地域連携推進センター

講演中の片岡典代副看護師長



講演中の片岡典代副看護師長

細木病院

秋の糖尿病ウォーキング開催

10月17日に秋の糖尿病ウォーキングが開催されました。当院受診中の糖尿病の患者さんに、外出、運動、糖尿病食、血糖変化を体験していただき、運動や栄養などに関する理解を深めていただくことを目的に、毎年春

と秋の年2回開催しています。今回は、患者さん8名、スタッフ22名、計30名が参加し、春と同様に、細木病院〜城西公園〜高知城のコース約3.5kmを歩きました。雲一つない晴天に恵まれ、心地良い暑さを感じながら気持ち良く運動することができました。

秋の年2回開催していた。血糖コントロールと適正体重の維持には、必要最小限のエネルギーをバランス良く摂ることが大切です。れんこんのはさみ揚げは、エネルギーを抑えるために小麦粉を歩きました。雲一つない晴天に恵まれ、心地良い暑さを感じながら気持ち良く運動することができました。参加した皆さんからは「おいしかった」とお褒めいただき、非常に嬉しく励みになりました。

昼食のお弁当は、毎回、当院の管理栄養士が献立を作成しており、今回は私が担当させていたいただきました。一食500kcalで、鮭の炊き込みご飯、菊花和え、れんこんのはさみ揚げなど秋を感じられる料理を取り入れまし

ました。参加した皆さんからは「おいしかった」とお褒めいただき、非常に嬉しく励みになりました。昼食後は、理学療法士によるレクリエーションがありました。私は今回が初参加でしたが、自然の中で身体を動かしながら会話できたことは、患者さんの日常を知る良い機会となりました。



興味をお持ちになられた方は、内科外来までお気軽にお問い合わせください。
(管理栄養士 瀧崎紫乃)

三愛病院

三愛フェア

「糖尿病」をテーマに開催!

11月21日、第9回三愛フェアが開催されました。今年はお祭り色の強いイベントではなく、「糖尿病の理解を深めよう」をテーマに、講演と質疑応答形式での開催となりました。

まず、「糖尿病とがん」と題した講演では、細木病院長の片岡典代副看護師長がスライドを使って分かりやすく解説しました。参加者は思わず「ふむむむ」とうなずき、聞き入っていました。

午後からのQ&A座談会では、深田院長、片岡副看護師長をはじめ、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリの各専門分野の職員が、参加者からの質問に丁寧に答えました。

試食会を行いました。こえていました。院長の真摯な姿勢とウィットにちんだ回答に、会場も終始和やかな雰囲気でした。最後は、リハビリ室で個別相談会が行われ、いつもはなかなか聞けない話や、専門的な相談などを各専門職と話し合いました。

アンケートには「毎年やってほしい!」「また来ます!」などありがたいご意見をたくさんいただきました。来年の開催が今から楽しみです。(総務課長 大山 裕)

講演の後は、「さんあい弁当」と称した500円弁当の



さんあい弁当

細木病院

グループホーム西町

『スマイリー西町合唱団』ラジオで歌声披露!

11月4日午後、RKCラジオキャンペーン「ご長寿応援団!」で、グループホーム西町の利用者さんによる『スマイリー西町合唱団』の歌声が放送されました。このラジオ番組は、ラジオパーソナリティが月1回、高齢者施設に向き、楽しいステージを通して、高齢者が生き生き暮らせる社会の実現に向けてパワーを届けるというものです。

収録の日、グループホーム西町の利用者さん16名が、日頃の成果を披露するために、収録所のデイサービスさくらんぼまで徒歩で移動。途中でしんどくなり、車瀬公園で休む人もいましたが、頑張つて到着。デイサービスさくらんぼの交流室に赤黄緑のカラーのTシャツ姿で、堂々と胸を張って並びました。収録が始まり、土佐かつおさんの上手な司会に笑い声も混じり、青い山脈など6曲を、デイサービスさくらんぼの利用者さんとも一緒に歌い切りました。(在宅部長 廣井三紀)

「今までの施設と違う、開かれた活動をされている、こちらが元気をもらいました。職員の皆さんがよく気が付いて動いてました」との話が流れ、皆が笑顔になりました。

収録の日、グループホーム西町の利用者さん16名が、日頃の成果を披露するために、収録所のデイサービスさくらんぼまで徒歩で移動。途中でしんどくなり、車瀬公園で休む人もいましたが、頑張つて到着。デイサービスさくらんぼの交流室に赤黄緑のカラーのTシャツ姿で、堂々と胸を張って並びました。収録が始まり、土佐かつおさんの上手な司会に笑い声も混じり、青い山脈など6曲を、デイサービスさくらんぼの利用者さんとも一緒に歌い切りました。



土佐かつおさんや番組関係者と一緒ポーズをとるスマイリー西町合唱団の皆さん

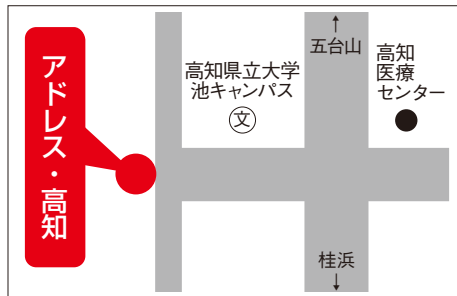
社会福祉法人ミレニアム 障害者支援施設アドレス・高知

高台に新築移転

11月19日、障害者支援施設アドレス・高知の新施設落成式が挙行されました。社会福祉法人ミレニアムの細木秀美理事長の挨拶の後、尾崎直高知県知事のご祝辞を井奥和男地域福祉部長が、岡崎誠也高知市長のご祝辞を宮村一郎健康福祉部副部長がそれぞれ代読され、ご出席の皆様の乾杯によるご祝福をいただきました。

11月25日から新施設での生活が始まりました。今後とも、利用者さんやご家族のご理解ご協力、関係各機関のご支援をいただき、安心・安全な、住みやすい、幸せな日々を実現する施設「アドレス・高知」のさらなる発展のために取り組んでまいります。どうぞよろしくお

願い申し上げます。
(施設長 黒田孝道)



振り返りますと、平成25年初頭に県と市から、高台移転の新制度創設のお話をいただいたことに始まります。幸い、高知県立大学池キャンパスの西側に移転できるだけの広い土地が見つかり、具体的に進めることになり

ました。設計監理を有限会社岬建築工房に、建築工事を和建設株式会社にお願いし、本年3月4日～11月12日の約8か月の工期により完成しました。

11月25日、落成式が挙行されました。社会福祉法人ミレニアムの細木秀美理事長の挨拶の後、尾崎直高知県知事のご祝辞を井奥和男地域福祉部長が、岡崎誠也高知市長のご祝辞を宮村一郎健康福祉部副部長がそれぞれ代読され、ご出席の皆様の乾杯によるご祝福をいただきました。



新築のアドレス・高知



落成式の様子

仁生会

平成27年度 部署対抗 職員バレーボール大会開催

10月25日、野市総合体育館にて、細木病院グループ職員バレーボール大会が開催されました。研修医も加わり、9チーム総勢72名が参加し、総当たり戦を行いました。試合中は皆が声を出し

結果は、細木病院医事課チームが初優勝を遂げる事ができました。おかげさまで部署内での結束もさらに強まりました。次回も連覇を目指して練習に励みたいと思っております。
(細木病院医事課案内 濱田和美)

合って、笑いあり、珍プレー好プレーありの連続で、楽しい時間を過ごすことができました。試合

近年、この大会は参加人数も増えて、どの部署も優勝を目指して練習を練り頑張っています。バレーボールの経験のない方でも大歓迎ですので、ぜひ一緒にプレーしましょう。日頃の



優勝した細木病院医事課チーム

仁生会年報

2014 第16号 刊行



発刊に際してのご協力に深く感謝申し上げます。

仁生会年報編集委員会



【診療日】

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	△
午後	○	—	○	—	○	—

【診療時間】

[午前] 8:00~13:00
(土は9:00~14:00)
[午後] 17:00~19:00
※月~土の14:00~16:30
は訪問診療、検査

【休診日】

火曜の午後、木曜の午後、
土曜の午後、日曜、祝日

【住 所】 780-0841

高知市帯屋町2丁目2-9
帯屋町CENTRO 2階

【電 話】 088-875-4976

【ホームページ】

<http://www.obiyamachi-heart-clinic.com/>

平成27年9月1日、帯屋町チェントロ2階に帯屋町ハートクリニックを開院しました。当クリニックは、心臓病(狭心症、心筋梗塞、心不全、心臓手術後、ペースメーカー植込み後の管理)、血管疾患(閉塞性動脈硬化症)および生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症等)を主に診察しております。診察時間は8時~13時(平日)、17時~19時(月、水、金)で、お仕事



院長
日浦 正仁

を認めています。心臓リハビリテーションとは、専門的な運動療法や食事療法、心理面のケア等を通じて安心して日常生活を送れるようにするとともに、心臓病の再発を防ぐものです。脳卒中のあとに脳のリハビリテーションを行うように、心臓や血管の病気のあとにも心臓のリハビリテーションを行うことが大切です。心臓リハビリテーションは保険診療が認められていますので、

興味のある方はお気軽にご相談ください。スタッフ一同、「帯屋町から心臓リハビリテーションで高知県を元気にしたい!」という意気込みで頑張っていますので、よろしくお願いたします。



帯屋町ハートクリニック

■循環器内科
■内科
■心臓リハビリテーション科

地域連携医療機関のご紹介

あなたとあゆむ
積善会ニュース NO.88

ビオロジコ バルサミコ ビアッコ
Biologico Balsamico Bianco

オーガニック 白バルサミコ酢 有機栽培 250mL
北イタリア・モデナ産のビオロジコ(有機栽培・オーガニック・無農薬)のトレビアンカ種の白ぶどうのみを使用。伝統的な製法で、白ぶどうを樽で3年熟成させました。

- ・品名/白バルサミコ酢(ぶどう酢)
- ・原材料/白ワインビネガー、ぶどう液
- ・品種/トレビアンカ種
- ・酸度/5.5%
- ・内容量/229g(250ml)
- ・原産国/イタリア

素材の味を活かした
カルパッチョ・サラダ・魚介類などの
お料理に最適です。
炭酸やお酒で割っても
おいしく召し上がれます。

1本 2,592円(税込)
3本まとめ 7,200円(税込)



有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F
TEL : 088-873-0146
FAX : 088-873-0147

《売店》

細木病院 新館地下
088-822-7211(代)/内線1610
三愛病院 1階
088-845-5291(代)/内線260

冷凍海産物を今年もご案内します。

今年も厳選素材をたっぷりとお届けします。
寒い冬には鍋を囲み、家族皆で暖まりませんか?

12月初旬の
ご案内!



年賀切手・年賀はがき 各種 販売中!!
お早めにごどうぞ

(有)積善会がお届けするインターネットショップ!
Zenショップ が新しくなりました。

新製品も続々登場!!
ぜひ一度ご覧ください。



<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>



細木病院に『Pepper』がやってきました!

11月18日～30日、ヒト型ロボット『Pepper』が細木

病院本館1階の待合フロアにお目見えしました。

このPepperは、ソフトバンクが販売している家庭向けの一般販売モデルです。10月に細木病院グループの有限会社



積善会が1台購入しました。

今はまだ会話がおぼつかないのですが、愛嬌あるしぐさとつばらな瞳で皆の心を和ませてくれていました。期間中、高知新聞や高知放送、テレビ高知、高知さんさんテレビが取材に来て、新聞・テレビで紹介されました。取材対応した宮地耕一郎事務部長は、「医療・介護の分野では、今後、ロボットの活用が不可欠な時代になってくると思います。当院としても口

ボットとの付き合い方や活用の仕方を探ってみたい」とPRしてまいりました。



取材対応中の宮地耕一郎事務部長

今後、窓口での簡単な受付業務に対応できる応用ソフトの開発を進め、当院では来春からの本格的な導入を予定しています。

細木病院 小高坂双葉園の園児たちから感謝の花束

勤労感謝の日に合わせて、小高坂双葉園の園児たちが細木病院を訪ねた。

私たちは大はしゃぎでした。

山川晴吾リハビリ・整形外科部長と細川卓利神経小児科部長に「いつもありがとう」と感謝の花束を贈りました。今回はちよんどPepperが来ているとあって、園児



細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月2回ほど、S館6階で音楽療法コンサートを開催しています。無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。

*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

第350回 ◆ 初舞

1月23日(土) 午後2時
出演：花柳寿延弥、花柳寿延美、花柳萱玉香、花柳萱桜心、伝統文化子供教室

日本の伝統文化である日本舞踊を子どもたちと一緒にあてやかに踊ります。

第349回 ◆ 2016年の幸せを願って、新春に歌う。

1月15日(金) 午後2時
出演：ハッピーコーラス

市民学校を母体として発足しました。歌好きの仲間が集い、童謡、唱歌などを表現力を高めながら楽しく歌うサークルです。今後はボランティア等にも力を入れていきたいと思っています。

ご存じですか!?

ソーシャルワーカーからのミニ情報

『在宅高齢者配食サービス事業』について



高知市では、概ね65歳

以上のひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯で、日常生活に支障があり、買い物や調理が困難な方を対象に、ご自宅に食事を配達する配食サービスを実施しています。栄養バランスのとれた食事の提供で健康的な生活を送ることを目的とするとともに、定期的な訪問を通じて安否の確認も行います。食事は昼食と夕食で、週1食から利用でき、週7食が上限です。利用には自己負担が必要

ですが、低所得者の方には助成があります。なお、食事を提供する事業所によって配達エリアが異なるので、お住まいの地域への配達が可能か確認が必要です。

詳しい内容等につきましては、細木病院患者サポート室または担当ケアマネジャー、高知市地域高齢者支援センターまでお問い合わせください。

患者サポート室 川江 忍

